



# キッズみんなの日記

5月号

★たえや擬態語を効果的に使う★  
花ふんつけ

桜の花も散り、若葉が眩しく、すがすがしい季節となりました。道ばたのタンポポも一斉に咲き乱れています。さて、今月の日記は、「お花見」や「始業式」をテーマにしたものが多かったようです。優秀作品では、文章をわかりやすく、生き生きと書く工夫が見られます。新規生や初掲載者も多数!

## 優秀作品紹介

### ★会話文で生き生きと★

おおかあさんに音どくきょう、よるおおかあさんに。音どくをしました。「つくしだれの子」と、「おてだまうた」と、「そつとうた」をよみました。

おてだまうたで、「いもとのすきな」とかいてあって、おにいちゃんが、「いもと?」

と言いました。わたしは、「いもうとのほうだよ。」

と、いいました。おにいちゃんは、「ああ、そっちか。」

と言いました。おもしろかったです。三つよむのは、つかれました。

(小二・YIさん)

お兄さんは、珍獣ハンターで有名な芸人の「いも」と「妹」をまちがえたんですね。その言葉で初めて気づいたーちゃん、日常のさりげない「発見」を生き生きと表現できました。イモトアヤコさんの太い眉毛が浮かんで笑いを誘う微笑ましい日記です。



今日、学校で、なしのはたけにいきました。そのなしをそだてているおじいさんは、もう四十年もやっているそうです。耳かきについているわたみたいなのがぼうについているもので、なしの花の赤い部分に花ふんをつけました。九月か十月に、自分たちで花ふんをつけたなしをとって食べることができるので、とても楽しみです。

(小三・MI君)

受粉に使う道具を「耳かきについているわたしは、ほんとうに上手いたとえですね!」このように、だれにでもわかるものにしたとえることで、読み手にも明確に説明することができそうです。MI君、お見事です。

### お花見

今日、わたしはドッチボールのみんなといっしょに、お花見をしに行きました。さくららは、とてもきれいでした。さくらの花びらが、ひらひらとおちてきて、すごくきれいでした。

わたしは、ドッチボールのみんなといっしょに、おべんどうに入っている、グラタン、こんぶごはん、エビフライ、ゼリー、たまごやき、ミートボールを食べました。おいしかったです。また、ドッチボールのみんなといっしょにお花見をしたいです。

(小三・YNさん)



いつもの仲間と桜の下で食べるお弁当は格別においしいでしょうね。桜の舞い散る様子を「ひらひら」というぴったりの擬態語を使って美しく表現しています。Nちゃんと友達、美しい桜が印象的な文章です!

### お弁当

今日、学童でお昼ご飯を食べました。

ママが作ってくれたからあげや、梅ぼしごはん、トマト、たまごやき、肉じゃがなどが入っていました。

全部おいしかったです。とくにおいしかったのが、からあげでした。からあげは、すごくおいしかったので、また食べたいなと思いました。からあげは、三つくらいだったので、すぐなくなっていました。

明日のお弁当は何かな、と思います。た。(小四・UMさん)

Mちゃんの手料理は、お弁当の中でも「特においしかったもの」をきちゃんと挙げて、あつという間にたいらげたという事実を書くことで、美味しさを上手に強調しているところですね。お母さんの手作り弁当、何よりのご馳走ですよ!

### 様子・状況を伝える

#### おいしいパン

今日の午後、おばあちゃんと妹で「サフラン」というパン屋に行きました。まず、みんなで食べたいパンを選びました。ぼくは、チョコのドーナツを選びました。いつもより、メロンパンが安かったので、買おうと思いましたが、ありませんでした。店員さんに聞いてみると、



よ。」

と言っていたので、「イトインコーナー」というところで待っていました。

二十分たつて見ると、メロンパンがありました。二十分も待って買ったので、すごくおいしかったです。また、行きたいです。(小五・ST君)

なぜ、メロンパンを買おうと思ったのか、また二十分も待つことになったのか、店員さんのセリフを交え理由を上手に説明できましたね。待った上に、焼きたてとくれば、美味しさはお墨付きですね、T君。美味しさを上手に表現しています!

### お花見

今日は、とても天気がよかったです。みさと公園へお花見に行きました。

公園につくと、たくさんの人でにぎわっていました。満開の桜は、とてもきれいで、木の下にシートをしいて、お母さんが作ってくれた、べん当をみんなが食べました。大好きな玉子焼きがとてもおいしく感じました。

ぼくは公園が好きなので、また来週も行きたいです。(小五・YS君)

公園の様子、桜の様子をムダなく、とてもスマートに描写していますね。たくさんの方が満開の桜を楽しんでいる様子が伺えます。「初め」「中」「終わり」の基本の三段落構成も見習いたいですね。満開の桜を見ながら、家族と食べるS君のお母さんの手作り玉子焼き! 絶品でしょうね!

### 待ちに待ったクラス替え

今日、学校に着くと、みんながしゃべっていました。クラス替えがあったからです。私はとてもドキドキしていました。クラスの紙を見ました。仲の



良い友達といっしょになれたので、とても喜びました。

そのあとに、始業式がありました。新しい先生がいっぱい来ました。転校生もたくさんいました。最後に、先生を発表する時です。私は、男の先生がいいと思いました。そして、先生は男の先生で重松鉄也という人です。私は、思わず、

「やったー。ちよーうれしー。」とさげびました。本当にうれしかったです。今日はついていると思えました。(小五・HMさん)



「事実や周りの様子」と「自分の気持ち」のバランスがとても良い文章ですね。クラス替えにざわつく教室の様子、期待と不安でドキドキするMちゃんの様子が目に浮かぶようです。嬉しさを等身大のセリフで表現しているところも印象的でした。

始業式

「先生だれだろう。」と、みんなが言い始めた時に校長先生が、

「はい。今年は六年生からしようかいしようと思います。六年一組、黒川先生。六年二組、香取先生。六年三組、またまた前之園先生。」

校長先生が言い終わったあとから、三組の男子が、

「イエーイ。ヒューヒュー。サイコー。」などと言っていました。

その後、二年生のしようかいが終わった。

「ドキドキするね。」

友達のななちゃんが話しかけて来た。

その理由は……。



「校歌せいしよう。」そう、ななちゃんはピアノ、私は指揮の担当だったから。練習通り、まちがえずに出来ました。(小六・THさん)

「セリフを上手く使い、友達の様子や自分の気持ちを効果的に表現していますね。始業式で担任の先生の発表よりも「ドキドキする」とは、よほどの緊張感だったのでしようね。Hちゃん、緊張感の中、間違えず最後まで頑張りました！お疲れ様♪」

一年生のお世話

今日は、一年生のお世話がありました。ぼくのクラスでは、十人ぐらいうりました。一組から五組まであるので大変です。

仕事内容は、ランドセルなどをきちんと入れさせること、休み時間に遊びに行かせること、教室のそうじをすることの三つです。ぼくは、五組担当で、二人でやりました。

朝自習の時に五組に行ったら、きちんとしていたので、あまり何もさせませんでした。

次に、休み時間に外で遊ばせました。集合するときに、ものすごく遠くで遊んでいた子がいたのでつかれました。

最後に、そうじをしました。ぼくは、はきそうじをしました。そうしたら、オルガンにゴミがたくさんありました。ちよと、疲れました。一年生のお世話は大変でした。(小六・WS君)



一年生のお世話の内容を上手に説明していますね。S君は六年生になり、自覚も生まれ、一年生をお世話するんだという気負いもあつて疲れてしまったのでしょうか。一年生のお世話を頑張るS君は格好良いです！頑張ってください♪

読書は頭が良くなる？

編集長市澤祥子の気まぐれコーナー

読書をするると本当に頭が良くなるのでしょうか。

以前、このコーナーで国語の得点力を上げるためには、読書は即効性がない、という意見を述べました。しかし、小学生のみならず、塾での最終目標は高校入試になります。それまでに、六年生でさえ、まだ四年近くもあります。

読書には語彙を増やしたり、表現力を学んだり、と国語に役立つ多くの要素が含まれています。即効性は無くとも、その積み重ねが大きな力になることは間違いありません。そして、何より情緒豊かになります。本を読むことで、自分が体験したことがないことも知ることが出来、今まで知らなかったことがらについて考えるきっかけをもらえます。思考力を鍛える何よりの方法だと言えます。

「キッズみんなの日記」で優秀作品掲載者の常連であるK君の部屋には、本がずらりと並んでいるそうです。お母様と面談した講師が伺ったところによると、本人の好奇心が旺盛だったとのこと。しかし、K君のお母様の素晴らしいところは、子どもの「知りたい」という欲求に言葉や本で答え続けていること。今知りたいたいことを把握し、それを与え続けることは、決して容易なことではありません。私は、時間がないと言いつつ、我が子が読んで欲しい本を読むことを「あとでね」「明日ね」と何度断ったことでしょうか。

もしかしたら、子どもの「知の芽」を潰しているのは、母親の私なのかもしれないとK君のお母様の話聞いて以来、反省と後悔の思いが強くなりました。そこで、一ヶ月に最低一冊くらいは、子どもと一緒に本を読もう！と決意しました。GW休暇を利用して始めると無理がないですよ。賛同して一緒に挑戦してくださったる保護者の方がいらっしゃったら嬉しいですね。



最後に、読書をするると頭がよくなるか、という疑問の答えを述べるのは難しいですが、本を読み続けたK君は、学力テストで全国五位という成績を修め、四年生とは思えぬほど、素晴らしい文章を書くことは事実です。現在は二年生飛び級のクラスで学んでいます。その上、友達や家族、生き物や天体あらゆるものに興味と関心がある情緒豊かな子でもあります。

小学校で読み聞かせのボランティアをしている友人の話によると、高学年でも食いつくように耳を傾けてくれるそうです。お母さんやお父さんと一緒に、今までの読書に興味を持ってなかったこともたちも、興味わくかもかもしれません。

「梨香台ゼミナール」として貸出を行っています。ご利用の際は、メールまたは直接お申し込みください。

伊藤先生のおすすめ本

★低学年★

ともだち 玉川大学出版部  
谷川俊太郎 文・和田誠 絵  
ともだちってなんだろう？考えさせられる一冊！



★★★中学生★★★

大どろぼうツインP ロツツ  
偕成社文庫 プリズン 作  
少年たちと泥棒の知恵比べが狂喜です。一度読み始めたら一気に最後まで読みたくなる名作です。



★★★★上級者★★★★

あらしの前  
岩波少年文庫 ドラド・ヨグ 作  
オールド家にも戦争の影が忍びよります。しかし、どんな困難にも希望を失わず、前を見るオールド家の人々に勇気と希望をもらえ一冊！

